

# 平成31年度事業計画書

## 公益財団法人花と緑の銀行

花と緑に彩られ、うるおいと安らぎに満ちた県土づくりを推進するため、「花と緑の元気とやま推進プラン」に基づき、「花と緑と人が輝く元気とやまの創造」を目標に、県民一人ひとりが主役となった花づくり緑づくりの活動を、各家庭から地域へ、さらに県下全域に展開し、県民総参加による花と緑の県づくりを進めていきます。

また、県の指定管理施設である富山県中央植物園及び県民公園頼成の森の適切な運営管理に努めていきます。

### I 銀行事業（公益目的事業1）

上記目標実現のため、「花と緑をはぐくむ」、「花と緑にふれあう」、「花と緑をすすめる」の3つの柱のもとに、施策を推進します。

#### 1 花と緑をはぐくむ事業

県民の積極的な参加を得ながら、身近な公共の場の花と緑を守り育てていくために、支店が主体となった緑化活動を実施する。

（以下の（1）～（6）の事業については、支店への交付金により実施する。）

##### （1）花と緑の地域づくり事業

###### ア 花の種苗配布事業

地域の緑化グループや公共施設等に、夏花壇用花苗や秋植え球根などを配布し、緑花活動を通じた花の町づくりを推進する。

（ア）草花苗	夏花壇用ポット苗	約 206 千株
	夏花壇用プラグ苗	約 312 千株
（イ）球根	秋植球根	約 158 千球

###### イ 緑化木配布事業

地域住民の憩いの場になっている花壇や公園等に、緑をボリュームアップするため緑化木を配布し、地域住民が主体となった緑づくりを推進する。

・市町村緑化運動用苗木等	約 2,405 本
--------------	-----------

#### ウ 増殖種苗情報ネットワーク事業

各緑化グループの余剰苗や不足苗に関する情報を銀行間でネットワーク化し、種苗の相互有効活用を促進する。

#### (2) 地域の緑づくり推進事業

2 箇所

公共施設等の敷地に樹木を植栽し、地域住民がふれあえる場を提供するとともに、地域の緑化を推進する。

#### (3) 地域の花づくり推進事業

12 箇所

間伐材や石等を使った自然風花壇の新規造成を促進する。また、宿根草や花木を取り入れ、緑と調和した自然風な花壇への改良を促進する。さらに、再生資源の利用を図りながら、花壇やプランターの土づくりを推進する。

#### (4) 学校緑化促進事業

学校での緑化活動を通じ、緑化意識の高揚を図るとともに良好な学習環境づくりを推進する。

ア 記念樹の植栽

1 校

イ チューリップの学級づくり

794 学級

#### (5) 支店活動支援事業

15 支店

支店が実施する花と緑に関する各種コンクールや地方銀行の活動推進のための各種研修の開催など、支店主体の事業展開及び地方銀行からの要望に添った緑化活動を推進する。

- ・ 置県百年記念花壇などの花壇やフラワーポットの維持管理
- ・ 地方銀行の活動促進のための研修、会議の開催
- ・ 地方銀行等への緑化木、花苗の配布
- ・ 花と緑に関する各種コンクールの実施
- ・ 花と緑に関する情報の提供
- ・ 地方銀行の活動に対する支援

#### (6) おもてなしフラワー事業

北陸新幹線の開業に伴い、観光地等を花で飾り、訪れた方により良い印象を持っていただくとともに、地域住民の意識向上を図り地域の活性化を図る。

フラワーポット維持管理（3・4年目）

9 箇所

設置したフラワーポットの維持管理を行う。

#### (7) 花だより花壇管理運営事業

花だより花壇（富山きときと空港前）の維持管理を実施し、花づくりを推進するとともに花と緑のふれあいの場を提供する。

## 2 花と緑にふれあう事業

県民が気軽に花と緑に親しみ、緑化意識の高揚、緑化活動の促進に繋がるよう各種コンクールや講演会などの緑化行事を開催するほか、花づくり・緑づくりに役立つ情報を「花と緑の銀行だより」やホームページによりタイムリーに提供する。

### (1) 普及啓発事業

#### ア 花のまちづくり推進モデル花壇の認定

花のまちづくりコンクールにおいて、継続してトップレベルの評価を受けた花壇を、開花のピークを迎える前の早期に推進モデル花壇として認定し公表する。

#### イ 花と緑の各種コンクールの実施

6 部門

花と緑を活かした美しい地域づくりを推進するために、花と緑の各種コンクールを実施する。

平成31年度花と緑の各種コンクール実施計画

コンクール名	審査時期
幼稚園・保育所花壇コンクール	7月18日、19日
学校花壇コンクール	7月25日、26日
花の道コンクール	8月1日、2日
一般花壇コンクール	8月7日～9日
花と緑の標語コンクール	9月上旬
花と緑のポスター原画コンクール	9月中旬

\*入賞作品の展示は10月下旬から11月上旬と2月上旬

#### ウ 第47回花と緑の大会の開催

花と緑の功労者及びコンクール入賞者を表彰するとともに、花と緑の記念講演会を開催する。

#### エ 花とみどり・ふれあいフェアの開催

県民生活の中に、花と緑を活用した彩り豊かで潤いと安らぎのある生活スタイルを提案するとともに、県民の緑化意識の高揚を図るイベントとして実施する。

#### オ とやまフラワーネットワーク事業への参画

県産花きの需用拡大を目的に、県内の花き業界関係者が一同に会して実施する「とやまフラワーネットワーク事業」に参画する。

#### カ 緑の教室

県民主役の花と緑の県づくりを推進するため、植物観察やドングリ集め、クラフト体験や植え方教室等のイベントを実施する。

キ 花のまちづくり新拠点創出支援事業 10箇所  
地域緑化活動の面的な広がりを助長するため、新たな緑化活動のきっかけとなる  
子供参加型の花壇教室等を実施する。

ク コンテナガーデンコンテストの開催  
地域緑化の指導者として活動している地方銀行頭取・グリーンキーパーの活動成  
果の発表及び技能向上を図るためコンテストを開催する。

ケ とやまの地域花壇マップ  
地域の花壇づくりを応援し、幅広く紹介するため、花壇マップを配布し、花と緑  
の交流の促進を図る。

コ「富山のさくら」名所づくり事業  
(ア)「富山さくらの名所」の開花期にさくら守による「サクラの案内」の実施。  
(イ) さくら守を対象にしたステップアップ研修の実施。  
(ウ) イギリスからのサクラの導入に向けた取り組み。

サ 普及広報活動

(ア) 広報誌「花と緑の銀行だより」を発行 年 4回 各 3,800部

(イ) 普及啓発用ポスターの配布 1,100枚

(ウ) 報道機関への翌月開催予定のイベント情報の案内

(エ) 見頃の花情報「花だより情報」や「さくら開花情報」を随時提供

(オ) 大型ショッピングセンター内の専用掲示板による情報の提供

(カ) 花と緑に関する各種情報をホームページにより提供

(公財)花と緑の銀行 (<http://www.bgtym.org/fgbank/>)

富山県中央植物園 (<http://www.bgtym.org/>)

県民公園「頼成の森」(<http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>)

(キ) 各種イベントで花と緑のマスコットキャラクター「はなびー」を活用し、財団の  
活動PRと、後継者の確保推進を図る。

### 3 花と緑をすすめる事業

県民主役の花と緑の県づくり運動の中心となる地方銀行頭取・グリーンキーパーの活動  
を支援するために各種研修及び講座を開催する。

#### (1) 花と緑の指導者育成事業

ア 新任頭取・グリーンキーパー研修の実施 1日

新規に委嘱、登録された頭取・グリーンキーパーを対象に、花と緑に関する知識・  
技術の向上のための研修を実施する。

- イ 現任頭取・グリーンキーパー研修の実施  
ブロック別に3会場で開催  
再任された頭取・グリーンキーパーを対象に、地域ごとに花と緑に関するより豊富な知識を得るための研修を実施し、地域のリーダーとしての自覚と意識の高揚を図る。
- ウ 頭取・グリーンキーパーステップアップ研修  
20回(30人)  
現在活動している頭取・グリーンキーパーを対象に、花と緑についての知識をさらに深め、地域のリーダーとして総合的な地域緑化を担う人材を育成する。
- エ フラワーグリーンバス教室の実施  
90人  
県内外の優れた緑化活動の実践現場を視察し、緑花推進手法及び技術の向上を図る。
- オ 支店活動推進会議及び現地課題研修の支援  
15支店

## Ⅱ 富山県中央植物園の管理運営業務（公益目的事業2）

富山県中央植物園の管理運営については、平成29年度から5年間、指定管理者として四期目の指定管理を受け、平成31年度はその3年目となる。今後とも植物園の管理運営に当たっては、「県民が何を植物園に求めているのか」「植物園として何を県民に提供するのか」を常に意識しながら、植物に関する文化の情報発信源となるよう運営していく。

具体的には、

- ① 四季を通じて県民が花や緑の中で語らい、安らぎ、憩うことのできる場として管理を行うとともに、利用者サービスの向上に努める。
- ② 学校教育や社会教育の場として、積極的な利用を促進するため、広報活動を充実する。
- ③ 植物に関する情報センターとして、植物公園ネットワークの連携を活用し、県民からの植物に関する問い合わせに応えられる体制づくりを行う。
- ④ 絶滅危惧植物の増殖・保存など植物を通じた環境保全の活動を行う。
- ⑤ 植物に関する調査研究の成果を目に見える形で県民に還元する。

ほか、新たな観光資源としての「サクラ」等のコレクションの魅力を県内外に発信していくことに、重点的に取り組む。

### 1 施設の維持管理

対象施設は別紙施設一覧表のとおり

### 2 植物の管理（屋外展示園、展示温室、栽培温室等）

#### （1）収集展示植物約4,900種

- ・**新** 桐野ツバキコレクションの導入

#### （2）屋外展示園：樹木等の管理、芝生等の管理、除草、雪囲い

#### （3）展示温室：熱帯植物、雲南省の植物等の展示

### 3 入園料等の徴収業務

目標入園者数 85,000人

### 4 植物園活動業務

#### （1）教育・普及

##### ア 企画展

特別展「二口善雄植物画展（仮）」、ツツジ・シャクナゲ展など

年間20回

イ	特別開園 「第8回さくらまつり」、夜間開園「熱帯植物探検」など	年間 4回
ウ	コンサート 「ドリアスコンサート」「クリスマスコンサート」	年間 2回
エ	講座、講習会 「植物写真教室」、「栽培講習会」など	年間 15回
オ	児童向け行事 植物園クラブ 「食虫植物を育てよう」「ボトルアクアリウムをつくろう」など	年間 14回
カ	大人向け体験行事 ボタニックガーデンクラブ 「多肉植物の寄せ植えづくり」、「はじめてのラテアート」など	年間 3回
キ	月例行事 植物ガイド —ボランティアと歩く植物園— 植物ガイド —園長と歩く植物園— 「緑のコンサート」	年間 37回 年間 12回 年間 5回
ク	園内施設の活用	
ケ	研修等 博物館実習、14歳の挑戦、支援学校職業体験研修、11年次教員研修などの受け入れ、ドリアスホールでの講義など	
コ	来園した学校等への対応 小学生対象のオリエンテーリング、どんぐり工作、植物を見つけようなど	

## (2) 情報提供

ア	インターネット	ホームページの運営
イ	植物相談	植物の同定や栽培管理に関する情報提供
ウ	広 報	新聞等への寄稿、マスコミ情報提供、ラジオ番組CM、新聞広告
エ	出 版	植物園だより、研究報告
オ	データベース	導入植物や文献・植物標本の登録

## (3) 植物の収集・自生地採取

購入による入手が困難な植物や種子交換用種子の採取

## (4) 植物園交流

- ア 植物公園ネットワーク
- ・ 県内9 専門植物園との連絡調整
  - ・ 植物公園ネットワークスタンプラリーの実施

- ・ 合同研修会の実施
- ・ 合同講演会の実施
- ・ 企画展パネルの貸し借り
- ・ 植物苗、種の交換・譲渡

#### イ 国内植物園交流

- ・ 日本植物園協会総会・大会、研究会への参加
- ・ 日本植物園協会及び日本研究植物園連合との交流
- ・ 国内植物園との植物苗・種子の交換

#### ウ 海外植物園交流

- ・ 中国昆明植物研究所との共同研究のとりまとめの推進
- ・ オックスフォード大学植物園(英)との交流連携

### (5) 調査・研究

#### ア 調査研究

- ・ 導入植物の特性評価と利用に関する研究
- ・ 県内の植物相や植生に関する調査
- ・ 絶滅危惧植物や稀産植物の保全に関する研究
- ・ 中国昆明植物研究所との共同研究の推進（外部資金による）
- ・ 富山県植物誌改訂版編集委員会事務局の運営

#### イ 資料収集

- ・ 文献、民族植物学資料、標本等の収集



### Ⅲ 県民公園頼成の森の管理運營業務（公益目的事業3）

県民公園頼成の森は、平成30年度より四期目の指定管理者として5年間の指定を受け、平成31年度はその2年目となる。同施設は花と緑の運動推進のシンボルとして県民の方々に支持され、利用者から満足を頂いているところであり、今後も、県民が安全に、安心して、楽しく憩える総合的な森林公園としての機能の発揚に努めるとともに、森林を生かした健康づくりの場、休養の場、体験学習の場として利用されるよう管理運営を行う。特に、魅力ある水生植物園を目指し、更にその充実を図る。

#### 1 施設の維持管理

対象施設は別紙施設一覧表のとおり

#### 2 県有林の管理

- (1) 除間伐、枯損・折損木処理、下草刈り等

#### 3 植物の管理

- (1) 入口広場の芝生、植栽木の管理
- (2) 花しょうぶ等水生植物園の管理  
(花しょうぶ 600品種、70万株ほか)

#### 4 自然や森林生態の学習体験

- (1) 森林科学館での各種展示
- (2) 第34回頼成の森花しょうぶ祭りの開催(6月14日から23日 見込み)
- (3) 体験教室の実施

#### 年間を通した多彩な行事

4月7日 守り人と歩く頼成の森（春編）＜春の森の中を観察＞

公園内の樹木等を観察

5月4日 緑に親しむ集い

林内散策、シイタケの植菌体験など

6月14日 花しょうぶ祭り（～23日）

育て方講習会、苗の販売、オカリナ演奏、写真コンテストなど

6月30日 守り人と歩く水生植物園

花しょうぶ等の水生植物観察

- 7月21日 **野鳥と昆虫の観察会**  
森や池の生物、昆虫、野鳥の観察
- 7月28日 **守り人と歩く頼成の森（夏編）〈カブトムシウオッチング〉**  
コナラ等の樹液に群がるカブトムシの観察 （8月11日も開催）
- 8月4日 **木製楽器づくり教室**  
木で楽器を作り、ミニ音楽会
- 8月25日 **竹を使った工作教室**  
竹で花瓶や写真立てづくり
- 9月22日 **ドングリ工作教室**  
ドングリや松かさ等で木の実の作品づくり
- 10月13日 **キノコ狩りと観察会**  
キノコ狩り、キノコ鑑定
- 10月27日 **守り人と歩く頼成の森（秋編）〈頼成の森・ボランティアの集い〉**  
森林の手入れ活動、植樹を体験
- 11月17日 **頼成の森・感謝の集い**  
林内散策、オカリナ演奏、リースづくりなど
- 12月22日 **ミニ門松づくり教室**  
竹や松などで正月用ミニ門松づくり
- 1月19日 **竹スキーづくり教室**  
竹でスキーを作り、試走
- 2月2日 **守り人と歩く頼成の森（冬編）〈冬の森の中を探検〉**  
雪中を散策し、冬の動植物を観察
- 3月22日 **守り人と歩く頼成の森（早春編）〈キンキマメザクラ観察会〉**  
早春の山に咲く桜を探察